

令和4年度(2022年度)

豊中市キャラクター マチカネくん



全国学力・学習状況調査 豊中市の結果概要

今年4月に実施された全国学力・学習状況調査について、豊中市の児童・生徒のみなさんの調査結果の概要がまとまりましたので、お知らせいたします。

令和4年(2022年)10月 豊中市教育委員会

●調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

●調査内容

①教科に関する調査※

小学校:国語、算数、理科 中学校:国語、数学、理科

②質問紙調査(児童・生徒に対する調査、学校に対する調査)

●実施日 令和4年(2022年)4月19日(火)

●対象学年

小学校 第6学年の全児童

(本市の参加児童数 3,746人)

中学校 第3学年の全生徒

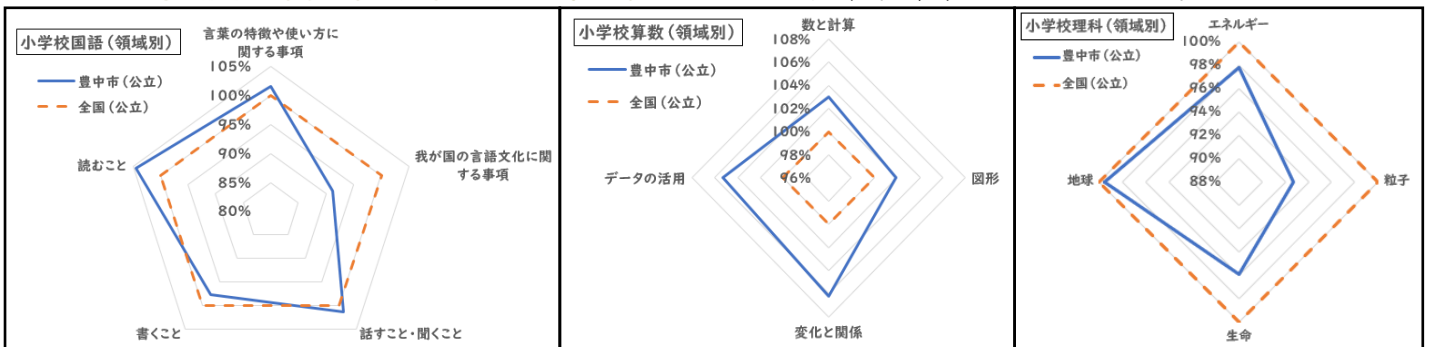
(本市の参加生徒数 3,189人)

※この調査結果は、学力や学習状況の一部であり、子どもたちの学力や学習状況、学校の教育活動などのすべてを表すものではありません。また、これまで経年変化をグラフに表すことができた質問項目であっても、今年度は質問項目から削除されるなど、グラフに表すことができない場合があります。

小学校 領域別平均正答率

※ 軸の目盛はグラフにより異なります。

※ 全国の平均正答率を100%としています。



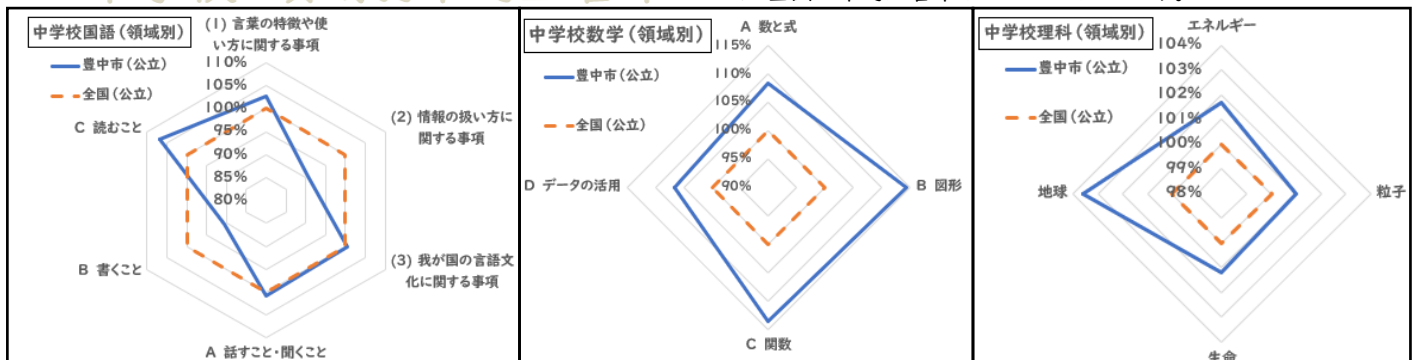
国語においては、「読むこと」の領域の平均正答率(以下、正答率と表記)が高くなっています。一方、「我が国の言語文化に関する事項」や「書くこと」の領域の正答率が低くなっています。算数においては、すべての領域において全国の正答率を上回り、特に「変化と関係」と「データの活用」の領域の正答率が高くなっています。理科においては、すべての領域において全国の正答率を下回り、特に「粒子」の領域の正答率が低くなっています。



中学校 領域別平均正答率

※ 軸の目盛はグラフにより異なります。

※ 全国の平均正答率を100%としています。



国語においては、「書くこと」、「情報の扱い方に関する事項」の領域の正答率が低くなっています。数学においては、すべての領域において全国の正答率を上回り、特に「図形」「関数」の領域の正答率が高くなっています。理科においては、すべての領域において全国の正答率を上回り、特に「地球」の領域の正答率は高くなっています。



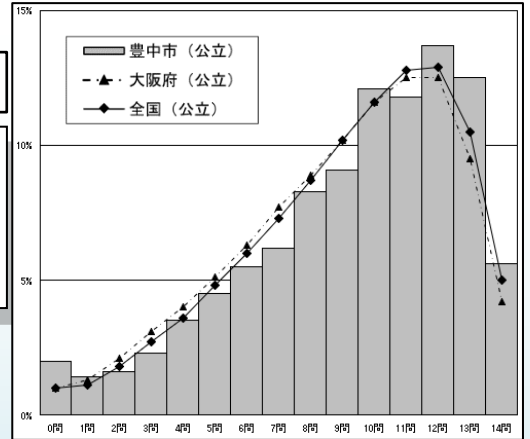
— 学力・学習状況調査の結果概要 —

小学校 国語

質問事項	豊中市	大阪府	全国
国語の勉強は好きですか	57.3	57.8	59.2
国語の勉強は大切だと思いますか	91.4	92.2	93.3
国語の授業の内容はよく分かりますか	84.8	84.7	84.0
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	89.3	90.1	91.8

小学校国語 正答数分布

正答数の分布は、総問題数14問中、12問を頂点とする右よりの山型を描いています。



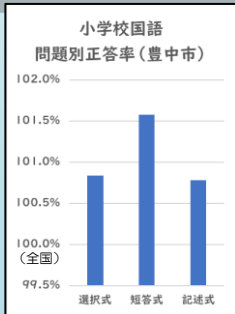
*児童質問紙「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の合計 (%)

◇登場人物の相互関係について、描写を基に捉えることは、たいへんよくできています。

『問題番号2(一)(2):「老人」は未来の「ぼく」であると考えられるところとして適切なものを選択する』

◆漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書くことに課題があります。

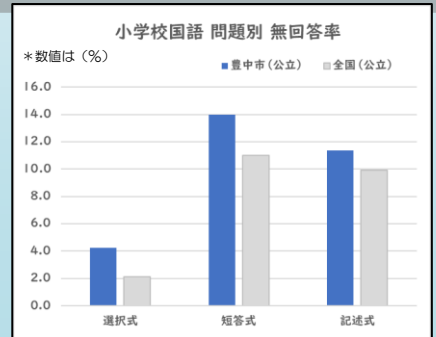
『問題番号4:島谷さんが書き直すときに気をつけた内容として最も適切なものを選択する。』



*全国の平均正答率を100%とした場合の数値。

小学校国語 問題別正答率と無回答率

全国平均と比べてすべての解答形式で正答率が高く、特に「短答式」は高いものとなっています。また、無回答率は、全国平均と比べてすべての解答形式で高くなっています。

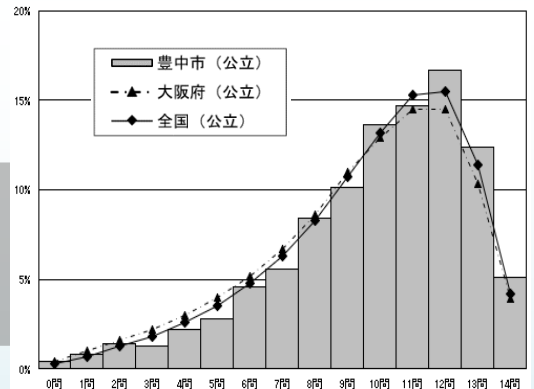


中学校 国語

質問事項	豊中市	大阪府	全国
国語の勉強は好きですか	62.7	60.7	61.9
国語の勉強は大切だと思いますか	91.5	91.9	93.2
国語の授業の内容はよく分かりますか	81.7	81.5	81.2
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	85.3	87.5	89.7

中学校国語 正答数分布

正答数の分布は、総問題数14問中、12問を頂点とする右よりの山型を描いています。



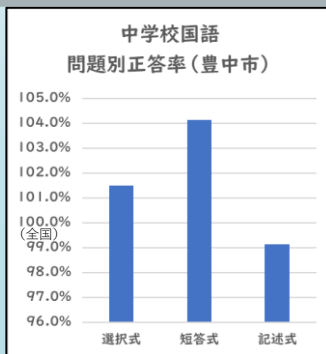
*生徒質問紙「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の合計 (%)

◇表現の技法について理解することは、よくできています。

『問題番号3一:表現の技法の名称を書き、同じ表現の技法が使われているものを選択する』

◆自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことに課題があります。

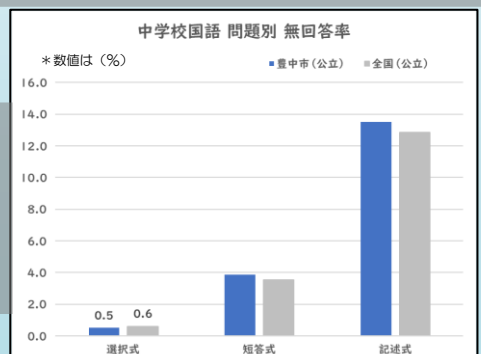
『問題番号2三:資料の一部から必要な情報を引用し、意見文の下書きにスマート農業の効果を書き加える』



*全国の平均正答率を100%とした場合の数値。

中学校国語 問題別正答率と無回答率

全国平均と比べて「選択式」「短答式」の正答率が高いものの、「記述式」の正答率が低くなっています。また、無回答率は「選択式」「短答式」については全国とほぼ同じであるものの、「記述式」については全国平均より高くなっています。

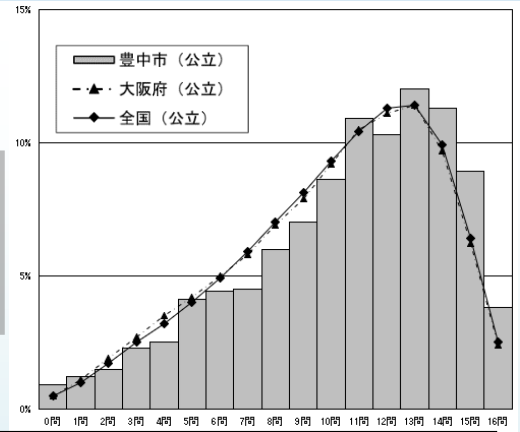


小学校 算数

質問事項	豊中市	大阪府	全国
算数の勉強は好きですか	60.3	62.1	62.5
算数の勉強は大切だと思いますか	92.1	93.2	94.2
算数の授業の内容はよく分かりますか	80.6	82.6	81.2
算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	90.4	92.3	93.3
算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか	65.7	65.7	69.3
算数の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか	77.1	78.4	80.4
算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか	75.5	76.2	76.8
算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか	84.2	84.6	85.7

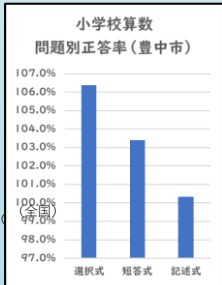
小学校算数 正答数分布

正答数の分布は、総問題数16問中、13問を頂点とする右よりの山型を描いています。



◇百分率で表された割合と基準量から、比較量を求めることが大変よくできています。『問題番号2(2):果汁が40%含まれている飲み物の量が1000mLのときの、果汁の量を書く』
◆示された場面を解釈し、除法で求めることができる理由を記述することに課題があります。『問題番号1(3):カップケーキ7個分の値段を、1470÷3で求めることができるわけを書く。』

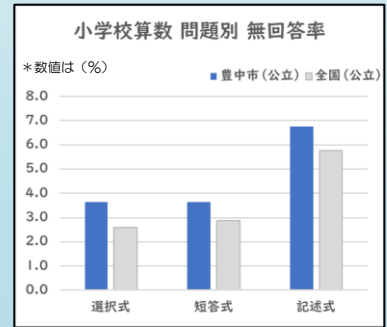
*児童質問紙「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の合計(%)



*全国平均正答率を100%とした場合の数値。

小学校算数 問題別正答率と無回答率

全国平均と比べてすべての解答形式で正答率が高く、「選択式」は特に高いものとなっています。また、無回答率は、全国平均と比べてすべての解答形式で高くなっています。

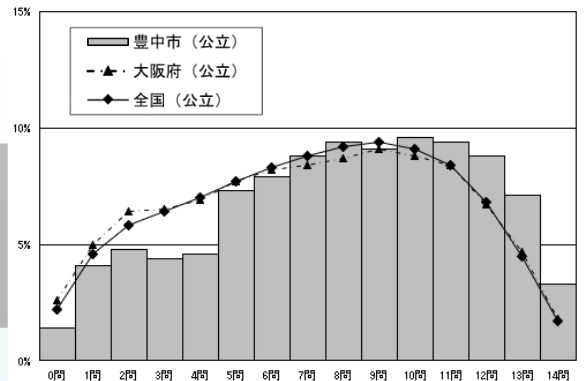


中学校 数学

質問事項	豊中市	大阪府	全国
数学の勉強は好きですか	62.4	58.9	58.1
数学の勉強は大切だと思いますか	85.7	84.9	86.6
数学の授業の内容はよく分かりますか	78.9	78.0	76.2
数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	72.0	74.5	76.5
数学の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか	43.4	45.8	47.3
数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか	75.8	73.9	75.2
数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか	70.8	69.9	70.2
数学の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか	80.1	78.9	79.6

中学校数学 正答数分布

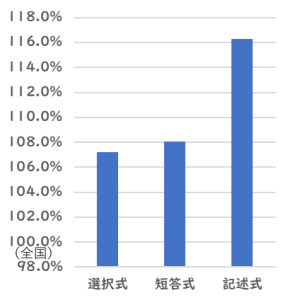
正答数の分布は、総問題数14問中、10問を頂点とする右よりの山型を描いています。



◇与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることが大変よくできています。『問題番号8(1):与えられたグラフにおいて、点Eの座標を書く』
◆多数の観察や多数回の試行によって得られる確率の意味を理解していることの平均正答率は低い結果が出ています。『問題番号5:容器のふたを投げたときに下向きになる確率を選ぶ。』

*生徒質問紙「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の合計(%)

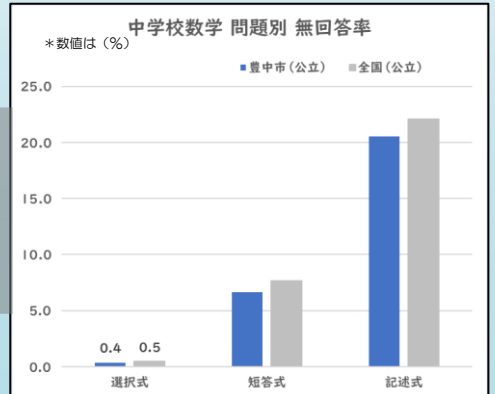
中学校数学 問題別正答率(豊中市)



*全国平均正答率を100%とした場合の数値。

中学校数学 問題別正答率と無回答率

全国平均と比べてすべての解答形式で正答率が高く、特に「記述式」については高くなっています。無回答率は「選択式」については全国とほぼ同じであるものの、「短答式」「記述式」については全国平均より低くなっています。

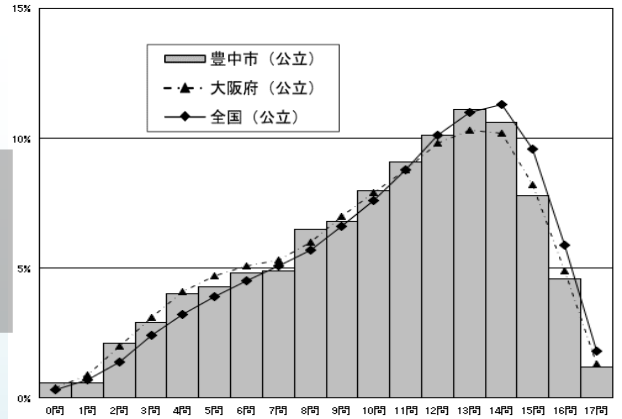


小学校 理科

質問事項	豊中市	大阪府	全国
理科の勉強は好きですか	75.2	75.4	79.7
理科の勉強は大切だと思いますか	82.4	83.7	86.5
理科の授業の内容はよく分かりますか	85.7	86.6	88.5
理科の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか	61.9	64.2	67.9
理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	72.0	73.8	77.2
将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思いませんか	27.2	25.8	26.6
理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか	71.0	75.1	78.0
理科の授業で、観察や実験の結果から、どのようなことが分かったのか考えていますか	79.6	82.2	84.9
理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えていますか	64.2	68.3	72.2

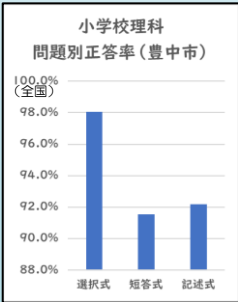
小学校理科 正答数分布

正答数の分布は、総問題数17問中、13問を頂点とする右よりの山型を描いています。



◇観察で得た結果を、問題の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことはおおむねできています。『問題番号4(1): 天気と気温の変化を基に、問題に対するまとめを選ぶ』
◆自然の事物・現象から得た情報を、他者の気づきの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述することに課題があります。『問題番号2(4): 凍った水溶液について、試してみたいことを基に、見いだされた問題を書く。』

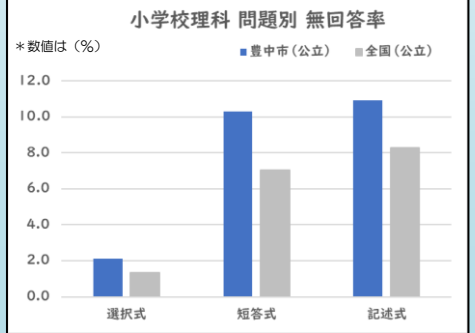
*児童質問紙「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の合計(%)



*全国の平均正答率を100%とした場合の数値。

小学校理科 問題別正答率と無回答率

全国平均と比べてすべての解答形式で正答率が低く、「短答式」「記述式」の正答率が特に低くなっています。また、無回答率は、全国平均と比べてすべての解答形式で高くなっています。

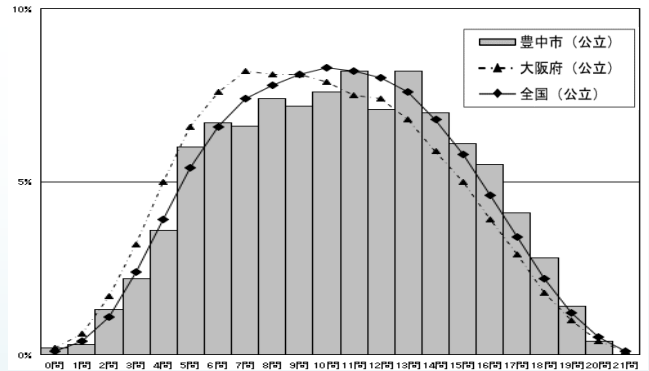


中学校 理科

質問事項	豊中市	大阪府	全国
理科の勉強は好きですか	65.5	62.9	66.4
理科の勉強は大切だと思いますか	76.8	73.9	76.8
理科の授業の内容はよく分かりますか	78.1	74.6	75.2
理科の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか	48.2	48.9	52.7
理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	57.4	57.0	61.5
将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思いませんか	23.9	23.1	22.1
理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか	61.1	57.5	64.5
理科の授業で、観察や実験の結果をもとに考察していますか	78.0	71.3	78.9
理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えていますか	65.7	61.2	68.1

中学校理科 正答数分布

正答数の分布は、総問題数14問中、11問と13問を最大値とする中心よりの山型を描いています。



◇粒子の保存性の視点から化学変化に関わる水の質量が変化しないことを、分析して解釈できるかどうかをみることはおおむねできています。『問題番号3(2): 水素を燃料として使うくみの例の水の質量の変化について、適切なものを選択する』
◆必要な実験を指摘して、実験の計画を改善できるかどうかをみることに課題があります。『問題番号7(2): 一つの実験だけで行った考察について、課題に正対しているかどうかを検討し、必要な実験を指摘する。』

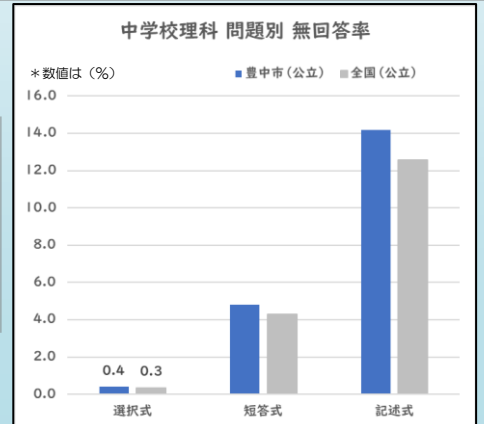
*生徒質問紙「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の合計(%)



*全国の平均正答率を100%とした場合の数値。

中学校理科 問題別正答率と無回答率

全国平均と比べて「選択式」「記述式」の正答率が高いものの、「短答式」の正答率が低くなっています。また、無回答率は「選択式」については全国とほぼ同じであるものの、「短答式」「記述式」については全国平均より高くなっています。

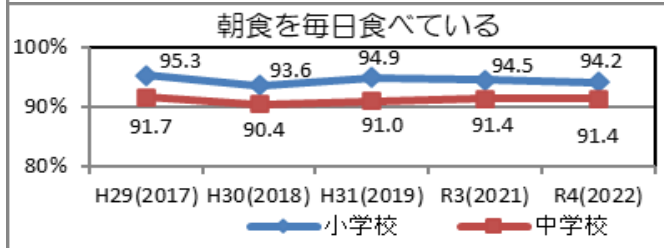
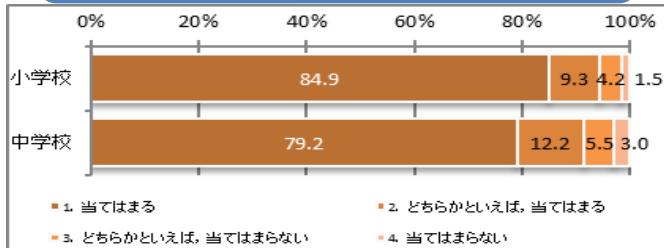


— 児童生徒質問紙調査から(小中比較・経年変化) —

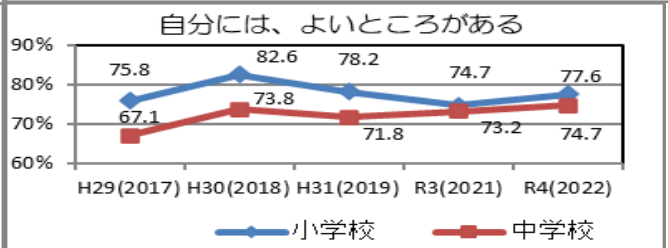
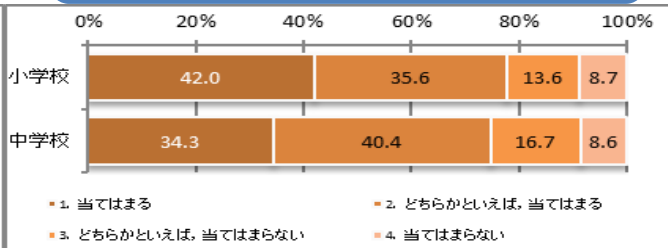
※児童生徒質問紙調査において、その回答の結果と学力調査の結果に関係性が見られた項目を取り上げ、豊中市の経年変化(当てはまる・どちらかといえば当てはまるの合計)をグラフでまとめました。



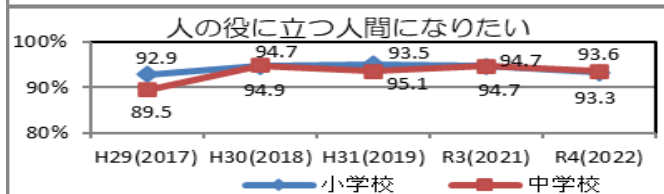
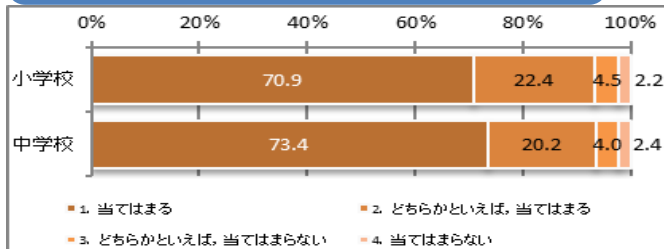
1 朝ご飯を食べている



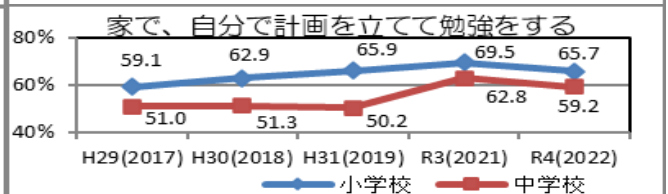
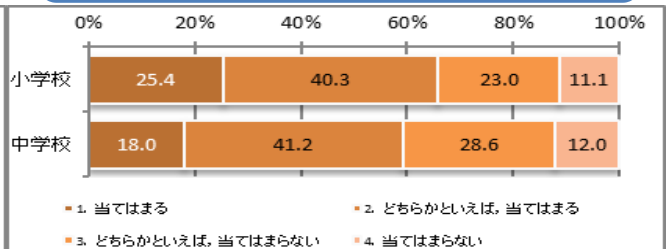
2 自分にはよいところがある



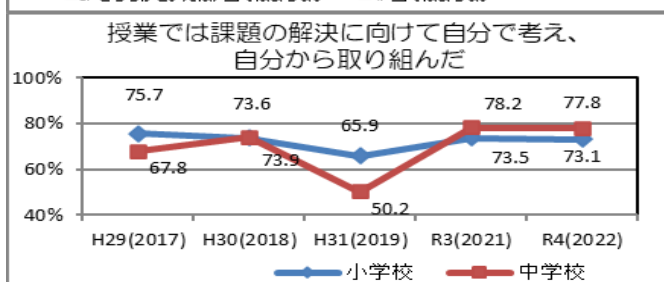
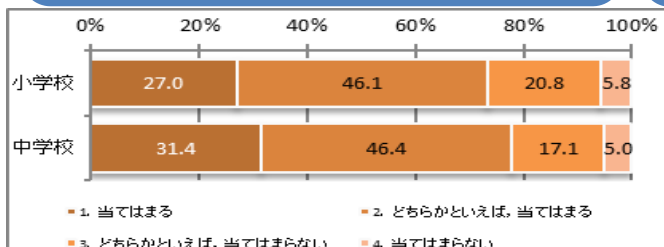
3 人の役に立つ人間になりたい



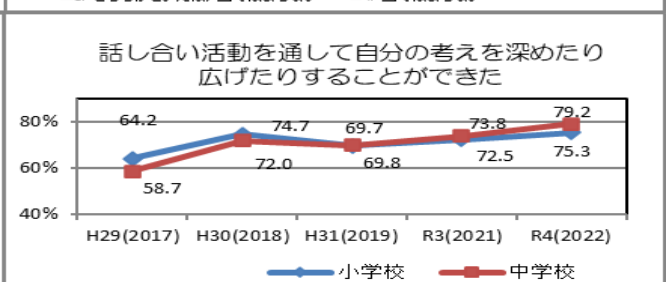
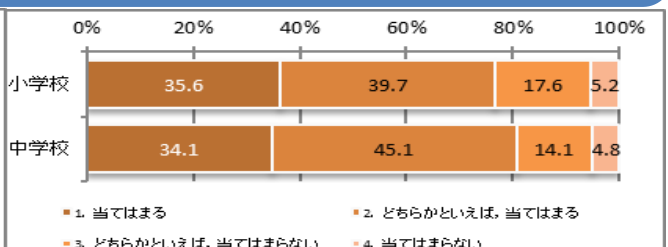
4 家で、自分で計画を立てて勉強する



5 前年度までに授業では課題の解決に向けて自分で考え、自分から取り組んだ



6 前年度までに学級の友達との間で話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり、広げたりすることができた



*令和2年度(2020年度)の調査は実施されませんでした。



— 学力・学習状況調査の結果から—

■国語について■

小中学校ともに、「書くこと」の領域における、自分の考えが伝わる文章になるように、全体の構成や書き表し方に着目して文章を整えることや、根拠を明確にして書くこと等に課題があります。また、「言葉の特徴や使い方に関する事項」として、漢字を文の中で正しく使うことについても課題が見られました。

一方で、話し手が伝えたいことの内容を捉えることや、計画的に話し合い自分の考えをまとめること等の「話すこと・聞くこと」の領域、また、叙述や描写を基に場面展開や登場人物の行動や気持ちについて捉えること等の「読むこと」の領域については、全ての設問で全国平均と比較して正答率が高い結果となりました。

■算数・数学について■

小学校では、「数と計算」領域における、示された場面を解釈し、除法で求めることができる理由を記述することや、「変化と関係」の領域における、割合を分数で表すことに課題がありました。

一方で、グラフから必要な情報を読み取ることや、目的に応じてデータの特徴を捉え考察すること等の「データの活用」については、全国平均と比較して正答率が高い結果となりました。また、中学校では、全ての設問において、全国平均と比較して正答率が高い結果となりました。

■理科について■

小学校では、全ての領域で全国平均と比較して正答率が低い結果となり、特に「粒子」を柱とする領域（いわゆる化学分野）や、「生命」を柱とする領域（いわゆる生物学分野）において、実験や観察から得られた情報を基に、自分の考えをもち、記述すること等に課題がありました。

中学校では、全ての領域で全国平均と比較して正答率が高い結果でしたが、「粒子」を柱とする領域（いわゆる化学分野）において、実験の結果が考察の根拠として十分かどうか検討し、実験の計画を改善すること等には課題がありました。

— 児童生徒質問紙調査の結果から—



■小中学校間での比較について■

「自分にはよいところがある」や「家で、自分で計画を立てて勉強をする」という質問については、小学校の方が肯定的な回答をした児童生徒の割合が多い結果となりました。

「授業では課題の解決に向けて自分で考え、自分から取り組んだ」や話し合い活動を通して自分の考えを深めたり、広げたりすることができた」という質問については、中学校の方が肯定的な回答をした児童生徒の割合が多い結果となりました。

■経年比較について■

「自分にはよいところがある」や「話し合い活動を通して自分の考えを深めたり、広げたりすることができた」という質問については、肯定的な回答をした児童生徒の割合が、昨年度と比べて増加しました。

一方で、「家で、自分で計画を立てて勉強をする」という質問については、肯定的な回答をした児童生徒の割合が、昨年度と比べて減少しました。